

# 東京ガス通信

2011秋冬号

株主の皆さまへ

2012年3月期 第2四半期  
(2011年4月1日～2011年9月30日)



- P.1 決算ハイライト
- P.2 株主の皆さまへ  
東京ガスグループ  
「チャレンジ2020ビジョン」  
策定のご報告
- P.7 ガスでエコ
- P.8 ガスと暮らし
- P.9 東京ガスニュース
- P.11 連結決算のご報告
- P.13 ガスで味わう旬の食卓
- P.14 会社情報



# 決算ハイライト

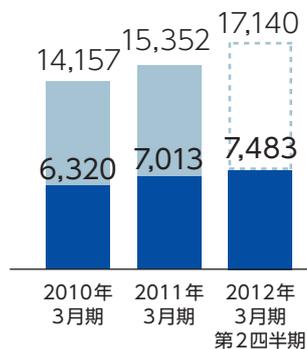
## 2012年3月期 第2四半期 (2011年4～9月) 業績のポイント

- ・ ガス販売量は前年同期とほぼ同水準にとどまりましたが、売上単価の上昇により、都市ガス売上高は増加しました。また、電力売上が増加した結果、売上高は前年同期比6.7%増の7,483億円となりました。
- ・ 原油高の影響などで営業費用が増加し、営業利益は前年同期比96.4%減の17億円となりました。また、特別損失の計上などが影響し、49億円の四半期純損失となりました。

業績に関する詳しいご説明は、P.11をご覧ください。

### 売上高

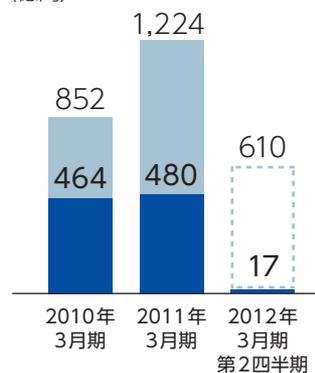
(億円)



■ 第2四半期 ■ 通期 (2012年3月期は見通し)

### 営業利益

(億円)



### 当期純利益 (純損失)

(億円)



## 2012年3月期 通期業績の見通し

- ・ ガス販売量の伸び悩みが予想されるものの、都市ガス売上高は増加する見通しであることと、電力売上の増加が見込まれるため、売上高は前期比11.6%増の1兆7,140億円となる見通しです。
- ・ 利益においては、営業費用の増加によって、営業利益、当期純利益とも、前期と比べて減益となる見通しです。

株主の皆さまへ

## 東京ガスグループ 「チャレンジ2020ビジョン」 策定のご報告

今後10年の日本のあるべきエネルギーの姿を見据え、  
東京ガスグループは、天然ガスを軸とした事業を、  
大きく前へ進めます。

「エネルギーと未来のために 東京ガスグループがめざすこと。」  
——私たちの新しい長期ビジョンをご説明します。

### チャレンジ2020ビジョンの枠組み

テーマ

LNGバリューチェーンの高度化

#### 重点施策：東京ガスグループがめざすこと

- ① 原料価格の低減を図るとともに、  
海外事業を拡大します。
- ② エネルギーを安全かつ安定的に供給します。
- ③ さまざまなニーズに合わせたエネルギー  
ソリューションを提供します。
- ④ 次世代を見据えた技術開発・IT活用を  
推進します。
- ⑤ これまで以上にスリムで強靱な企業体質を  
実現します。

代表取締役社長 岡本 毅

## 2020年の社会を見据えて、東京ガスグループ 長期ビジョンを策定

東京ガスグループは約40年前にLNGを日本で初めて導入して以来、「LNGバリューチェーン」の展開を通じて、天然ガスの普及・拡大を図ってまいりました。現行の「2009-2013年度グループ中期経営計画」(以下 現行中計)においても、「天然ガスをコアとする総合エネルギー事業」を確立すべく、事業遂行に努めています。

しかしながら、3月11日の東日本大震災により、社会を取り巻く環境は大きく変化しました。特に首都圏では、原子力発電所の事故や電力供給不安の問題を契機に、安全性・供給安定性・経済性・環境性のより高いエネルギーが求められるようになってきました。また、事業環境が大きく変化している中、従来の延長線上では解決できない事業運営上の課題も予見されます。これらを踏まえ、2020年度までを視野に入れた東京ガスグループビジョン「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」(以下 ビジョン)をとりまとめました。このビジョンには、東京ガスグループがエネルギーと未来のために何が出来るかという観点から、天然ガスの普及・拡大を通じて、これからのエネルギー問題の解決に向けて積極的な役割を果たすとともに、「豊かで潤いのある生活」

「競争力ある国内産業」「環境に優しい安心できる社会」の実現に努力することによってグループの持続的成長を図っていく意志を込めています。

## 大きな柱は「LNGバリューチェーンの高度化」

現行中計では、「環境を機軸とした価値創造(Eco-friendly)」「お客さま価値の向上(Excellent Service)」「マーケットの徹底深耕・拡大(Expansion)」という「3つのE」に重点を置いた事業展開と、それらを実現するための「LNGバリューチェーンの強化」「オール東京ガスの総合力強化」を図ることで「総合エネルギー事業の進化・発展」をめざしてきました。今回のビジョンでは、現行中計の基本戦略を継承しつつ、「LNGバリューチェーンの高度化」を通じて、お客さまや社会、株主の皆さまなどさまざまなステークホルダーに対して幅広いバリューを提供することに重点を置きます。

## 東京ガスグループがめざすこと

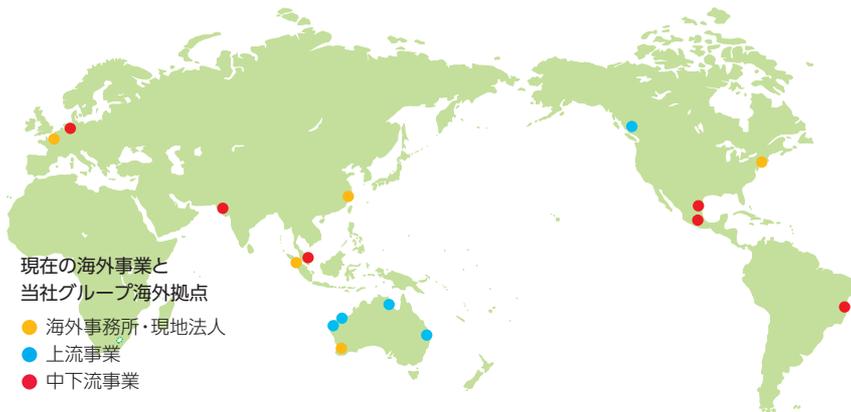
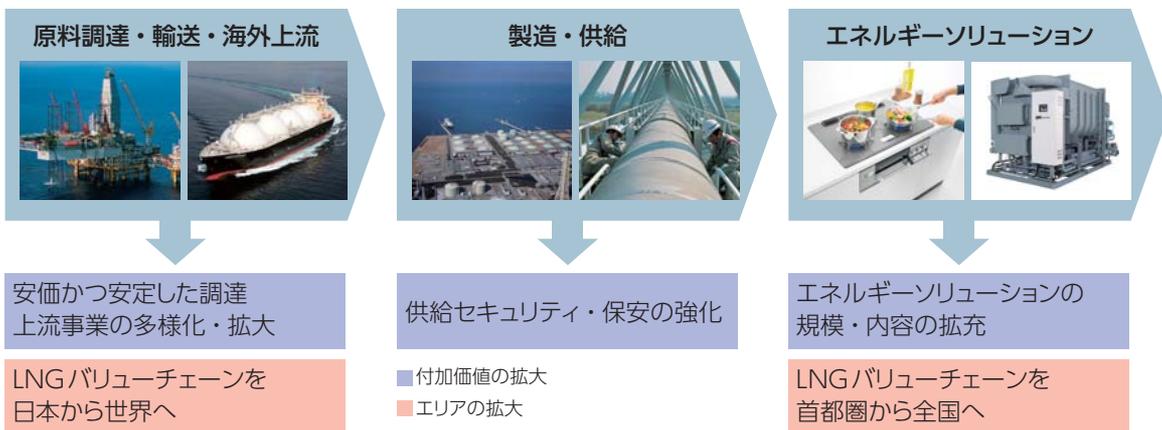
具体的には、コージェネレーションなどの分散型エネルギーシステムや電力事業の拡大など、LNGバリューチェーンで提供するさまざまな付加価値を高めるだけでなく、その展開エリアを日本全国、さらには海外へも拡大することをめざし、以下の5点の取り組みを重点的に進めていきます。

①原料価格の低減を図るとともに、海外事業を拡大します。

- 従来の大規模LNGプロジェクトからの調達や権益取得の取り組みに加え、非在来型天然ガスの調達や中小規模LNGプロジェクトの開発にも積極的に取り組むことにより、調達先や海外上流事業の多様化を進め、原料価格の低減を図ります。

- 併せて、天然ガス供給先として海外の天然ガス火力発電事業やガス供給事業を拡大することにより、海外にも「LNGバリューチェーン」を構築するとともに、当社グループの強みを活かせるエネルギーサービスやエンジニアリング事業の海外展開を進めます。

### ビジョンの柱「LNGバリューチェーンの高度化」



#### 海外展開の拡大

- 天然ガス火力発電
- ガス供給
- エンジニアリング
- エネルギーサービス

#### 国内展開の拡大

- 天然ガスの普及・拡大
- エンジニアリング
- エネルギーサービス

## ②エネルギーを安全かつ安定的に供給します。

- 今後のガス需要の増加に対応した製造・供給インフラ構築を進めるとともに、パイプライン連結による緊急時のガス相互融通体制の整備により、東日本の天然ガス供給ネットワークをさらに強固なものにしていきます。加えて、地震等の天災や停電に対して従来以上に強靱で、安全なガス供給システムを実現します。

## ③さまざまなニーズに合わせたエネルギーソリューションを提供します。

- エネルギーセキュリティの強化や電力需給緩和に貢献するため、分散型エネルギーシステムやガス空調システム等の普及拡大に加え、自社持分電源を増強し天然ガス火力発電事業を拡大します。また、低炭素社会へ貢献するため、

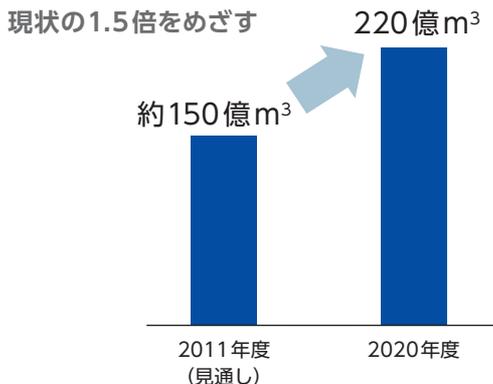
風力発電等ゼロエミッション電源への取り組みを従来以上に推進します。

- お客さまの省エネ等さまざまなニーズに応えるため、電気だけでなく熱も含めたエネルギーを賢く使う「スマート化」を推進します。また、当社グループの技術力を最大限活かし、産業用における天然ガスの高度利用と燃料転換を進めるとともに、ローリー車や外航船・内航船によるLNG販売を全国に拡大していきます。
- これらの取り組みにより、年間約150億m<sup>3</sup>のガス販売量を、2020年までに220億m<sup>3</sup>にまで伸ばしていくことをめざします。

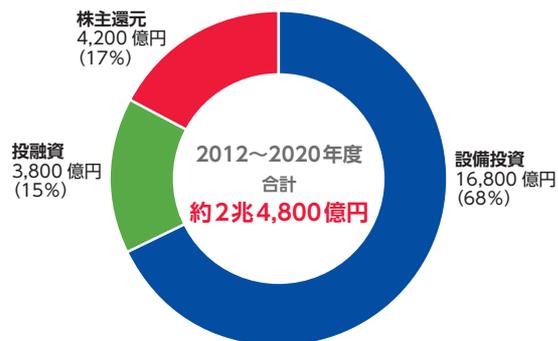
## ④次世代を見据えた技術開発・IT活用を推進します。

- 分散型エネルギーシステム等の技術開発に加

## ガス販売量 (連結)



## キャッシュフローの配分先 (連結)



え、2020年代以降を見据え、「水素社会」の実現やCO<sub>2</sub>の分離・回収・輸送・貯蔵（CCTS）に関する技術開発、メタンハイドレート等に関する研究開発に取り組みます。

- IT基盤については、スマートメーター等新たなニーズに対応し、お客さまとの密接なコミュニケーションを実現することに加え、災害・障害に強く、常に安定して事業を支える情報システムを実現します。

#### ⑤これまで以上にスリムで強靱な企業体質を実現します。

- 関係会社、協力企業を含めた東京ガスグループ全体での最適な業務遂行体制を構築します。また「LNGバリューチェーンの高度化」を実現するため、グループ全体での人材育成・強化を行います。

#### 業績目標と株主還元について

これら全体の取り組みにより東京ガスグループの事業基盤の強化を図ると同時に、効率的な経営を推進し、健全な財務基盤の維持と資本効率の向上を実現します。2020年度時点でのROEは8%程度、ROAは4%程度、D/Eレシオは0.8倍程度をめざします。

2020年度までに創出する営業キャッシュフローは2兆2,400億円程度を見込んでおり、これ



に外部借入等による資金調達約2,400億円を加えた約2兆4,800億円のキャッシュフローを、成長を担う設備投資・投融資に約2兆600億円、配当と自社株取得を合わせた株主の皆さまへの還元には約4,200億円配分する予定です。

株主の皆さまへの配分は、減配することなく長期的視点で着実に配当を増やすという、これまでの基本方針を踏襲し、配当と自社株取得を合わせた総分配性向を60%程度といたします。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年11月

岡本 毅

# ガスでエコ この冬もガスで賢く節約しませんか？

今年の夏は、ご家庭でも、企業でも、皆が協力し合って節電に取り組みました。エネルギーを上手に使う暮らしをこれからも継続していくために、ここでは、環境に優しいガスを利用したエネルギー節約術をご紹介します。

## 1 ご飯をガスで炊いて節約

電気炊飯器で炊くのが一般的なご飯ですが、ガスコンロで炊くと少ないエネルギーで炊き上がります。

**ガスコンロだと3.6円** 電気炊飯器だと4.5円(当社試算)

## 2 お湯はそのつどガスで沸かして節約

保温機能付きの電気ポットでお湯を沸かして保温するよりも、必要なときに必要な量だけガスコンロで沸かす方が省エネになります。

**ガスコンロだと6.2円** 電気ポットだと19.3円(当社試算)

\* ガスコンロは、やかんで1リットルずつ3回沸かした場合。電気ポットは、水を3リットル沸かし、1リットル使用、残り2リットルを5時間保温後1リットル使用、残り1リットルを5時間保温後1リットル使用した場合。

## 3 エネファームでマイホーム発電して節約

エネファームは、発電しながら同時にお湯も沸かし、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム。「家で電気を作る」喜びを味わっている方が増えてきています。太陽光発電を組み合わせたW発電なら、エネルギー節約量もさらに大きくなります。

**約6割の電気をガスで発電できます\***

(この発電時の熱で約8割のお湯をまかなうことが可能)

\* 戸建住宅4人家族の場合(当社試算)。

炊飯も湯沸かしも自動でらくらく

## Siセンサーコンロ



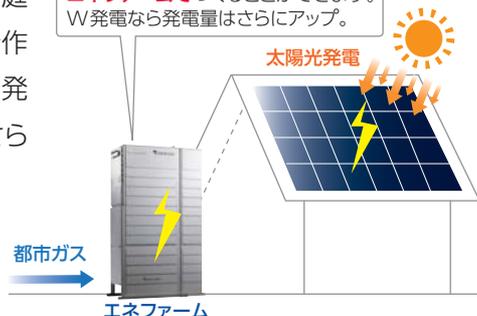
コンロ操作部

グリル操作部



Siセンサーコンロには、さまざまな安心・安全機能のほかに、便利な機能も満載です。例えばボタンを押すだけで簡単にご飯を炊くことができる自動炊飯機能。お湯が沸くと自動で火を消す湯沸かし機能も便利です。

家庭で使う電気の約6割を  
エネファームでつくることができます。  
W発電なら発電量はさらにアップ。



このほかにもさまざまな節電・省エネのためのヒントをウェブサイトでご紹介しています。 [www.tokyo-gas.co.jp/ultraene/index.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/ultraene/index.html)

# ガスと暮らし エコ・クッキングのススメ

東京ガスでは、食に対する知識や経験の習得、食文化の継承をめざし、ウェブサイトや料理教室などを通じてさまざまな情報発信活動に取り組んでいます。そのひとつがエコ・クッキング\*の推進です。

\*エコ・クッキングは東京ガス(株)の登録商標です。



右:エコ・クッキング講座の様子

## エコ・クッキングとは?

エコ・クッキングとは、環境のことを考えて「買い物」、「料理」、「片づけ」をすることです。

私たちが手にする食材には多くのエネルギーが使われていますが、買い物から料理、片づけの過程では、一人ひとりが環境に配慮して実践できる活動があります。

「食」を通して、「身近な題材で、体験的に楽しく考える」というコンセプトの下、東京ガスでは、環境に配慮した食生活の提案や、それを実際に体験していただく「エコ・クッキング講座」を開催しています。

 ウェブサイトでは環境に配慮した食生活のアイデアやレシピなどをご紹介します。  
[www.tokyo-gas.co.jp/ecocom/ecocooking/](http://www.tokyo-gas.co.jp/ecocom/ecocooking/)

## エコ・クッキングのポイント

### 買い物:

ごみの少ない買い物、食材の選び方、環境に配慮した容器包装

### 料理:

省エネ料理、皮や葉を使った料理、残り物を使ったリフォーム料理

### 片づけ:

水の節約、水の汚れを防ぐ、生ごみの上手な処理など

## 料理を通じて東北6県の復興を支援する料理教室を開催

東京ガスはさまざまな趣向やテーマで料理教室を開催しています。今回は、東日本大震災で被害を受けた被災地の復興支援のため、東北6県に縁のあるシェフや料理人を講師に迎えた料理教室「がんばろう、日本!東京ガス×東北6県 今伝えたいふるさとの味、旬の味」を開催しています。

 料理教室の日程や内容など詳しくはウェブサイトをご覧ください。  
[www.tg-cooking.jp/](http://www.tg-cooking.jp/)

## カナダシェールガス開発プロジェクトに参画

当社は、カナダのブリティッシュ・コロンビア州コルドバ堆積盆地のシェールガスを中心とした天然ガス開発プロジェクトに参画しました。シェールガスは、近年の技術革新により低コストで大量生産が可能となり、その膨大な埋蔵量が注目されている新しい天然ガス資源です。

このプロジェクトを足がかりに、シェールガス開発の動向に関する知見を蓄積しながら、将来的には、産出されるシェールガスをLNGとして日本に輸入することも視野に入れた検討を進めていきます。

### 東京ガスが参画する シェールガスプロジェクト



## パナソニック(株)さまが進めるスマートタウン構想にパートナーとして参加

自然の恵みを取り入れた“エコで快適な”街、多様な設備・機器をネットワーク連携した“最初からつながる”街、創エネ・省エネ・蓄エネを街まるごとで導入しベストミックスを実現する街。そんな次世代の街づくりが神奈川県藤沢市で進められています。

パナソニック(株)さまが主導するこの「Fujisawaサステナブル・スマートタウン構想」に、パートナー企業として東京ガスも参加しています。当社は、「エネファーム」の導入による家庭での「創エネ」、「エコで快適な暮らしの提案」、そして「スマートエネルギーネットワークの推進」などにおいて大きな役割を果たしていきます。



合同説明会では参加する9社の代表が登場  
右から2人目が当社青沼常務執行役員

## 首都圏から全国のお客さまに、LNGの供給規模をさらに拡大

当社は、天然ガスの普及拡大のため、首都圏のみならず全国のガス事業者へLNGを販売・供給しています。本年8月には北海道ガス(株)さまと11年間に及ぶLNGの売買契約を結びました。当社が契約するLNGプロジェクトから、外航船を使って長期的にLNGを国内ガス事業者へ供給するのは、初めてとなります。また、9月には九州の西部ガス(株)さまと、当社からLNGを16年間供給する内容の基本合意を結びました。

いずれも長期・安定的なLNG販売量の増加をめざす当社と、長期的な供給安定性の確保につなげたい各社の意向が合致し締結に至りました。

### 国内LNG供給事業の拡大



## 株主さま向け施設見学会を開催

株主の皆さまに当社グループの事業運営についてご理解を深めていただくため、袖ヶ浦工場、根岸工場、供給指令センターにおいて施設見学会を開催いたしました。

参加された株主さまは、工場では構内見学やLNGの冷熱(-162℃)実験を、供給指令センターでは都市ガスの製造・供給状況を24時間体制で総合的に監視、コントロールしている様子等をご覧になるとともに、都市ガスの安定供

給への取り組みや地震対策の説明に熱心に耳を傾けられました。



冷熱実験ご見学の様子

# 連結決算のご報告

## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益 (純損失)



■ 第2四半期 ■ 通期

## 当第2四半期 (2011年4～9月) の業績の背景

### 事業環境について

- 消費の抑制、企業活動の縮小、省エネ活動の推進などが影響し、エネルギー需要の低迷が続きました。
- 原子力発電に大きく依存しない需給構造への転換が求められ、天然ガスシフトの動きが高まりました。
- 天然ガスの価格決定に影響する原油価格は、世界的なエネルギー需要の高まりによって上昇しました。

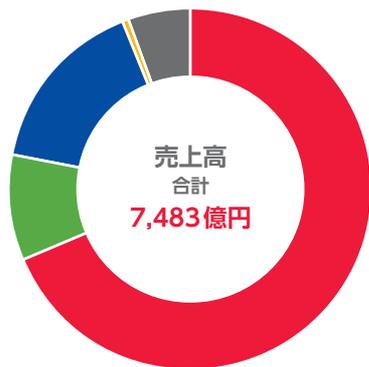
### 売上について

- ガス販売量は、家庭用分野や業務用分野で減少したものの、工業用分野では増加し、全体として前年同期並みとなりました。
- その一方、ガス販売単価が上昇したため、都市ガス売上高は前年同期と比べて増加しました。ガス販売単価の調整は、原料費調整制度によって、原油価格の上昇に伴う原料費の増加が反映されたものです。
- その他エネルギーセグメントに含まれる電力売上が増加し、増収に貢献しました。

### 利益について

- 原油価格が上昇したことにより、原材料費が増加したこと、および年金数理差異の償却負担増があったことなどにより、営業費用が増加し、減益要因となりました。
- また、投資有価証券評価損48億円を特別損失に計上したことなどにより、当第2四半期は49億円の四半期純損失となりました。

## セグメント別外部売上高構成比



### ● 都市ガス 68.6% 5,137億円

1,078万件のお客さまに都市ガスを販売しています。売上高は前年同期比4.5%増加しました。ガス販売量の状況は右図のとおりです。

### ● 器具及びガス工事 9.4% 703億円

ガス器具の販売や、お客さまの敷地内のガス工事を行っています。売上高は前年同期比1.4%増加しました。

### ● その他エネルギー 15.9% 1,189億円

エネルギーサービスや、電力・LPGの販売を行っています。売上高は前年同期比19.7%増加しました。電力販売による売上は、扇島パワーステーションの運転開始により前年同期比42.3%増の454億円になりました。

### ● 不動産 0.7% 53億円

新宿パークタワーをはじめとする、商業・オフィス施設の賃貸・管理等を行っています。売上高は前年同期比11.0%減少しました。

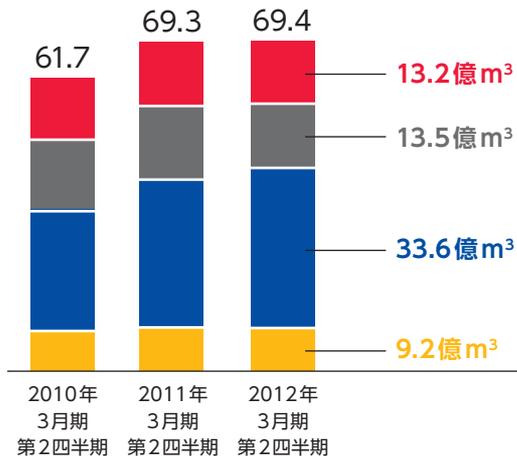
### ● その他 5.3% 400億円

建設、情報処理サービス、船舶、クレジット・リースなどの事業を行っています。売上高は前年同期比15.1%増加しました。

## 用途別ガス販売量の実績

当第2四半期は、工業用分野の伸びがそのほかの用途の減少をカバーし、前年同期とほぼ同水準の69億40百万m<sup>3</sup>となりました。

(億m<sup>3</sup>)



### ■ 家庭用 3.1%減

春先の平均気温が前年より高めで推移したため、給湯・暖房需要が減少し、販売量が減少しました。

### ■ 業務用 14.1%減

震災と、その後の省エネ推進などの影響により、ガス空調など既存設備の稼働が減少し、販売量が減少しました。

### ■ 工業用 8.8%増

企業の自家発電設備の稼働増のほか、扇島パワーステーションの稼働に伴って発電専用需要が増加したため、販売量が増加しました。

### ■ 他事業者向け供給 0.3%減

大口の供給先事業者の需要減等により、販売量が減少しました。

# ガスで味わう旬の食卓

## くるみと舞茸の炊き込みご飯

くるみ、舞茸、菊花を使い、秋らしい華やかな炊き込みご飯を作ります。

調理時間：30分 栄養価(1人分)：413kcal 脂質8.1g 塩分1.5g



### 材料(4人分)

- A・米 1と1/2合
- ・もち米 1/2合
- ・だし汁 360ml
- ・マイタケ 200g
- ・ニンジン 50g
- ・菊花(食用) 小8輪
- ・酢 適量
- B・塩 小さじ3/4
- ・酒 大さじ2
- ・醤油 小さじ2
- ・クルミ 40g

### 作り方

- ① Aは洗ってザルに上げて炊飯釜に入れ、分量のだし汁に浸して30分おく。
- ② マイタケは食べやすい大きさにさき、ニンジンは大めのせん切りにする。
- ③ 菊花は酢を入れた熱湯で色よくサッと茹で、水に取り絞ってからほぐす。
- ④ ①にBを入れて混ぜ、②をのせて炊く。
- ⑤ 炊き上がったら③、粗く刻んだクルミを混ぜる。

**エコ・クッキング\*のポイント** \*エコ・クッキングは東京ガス(株)の登録商標です。

- 1 くるみ、舞茸など、旬の食材は生産するために使用されているエネルギーが少ないので、食生活全体のエネルギーの節約につながります。
- 2 人参は皮ごと使います。生ごみが減り、それを処理するためのエネルギーを減らせます。
- 3 電気炊飯器ではなく、コンロでご飯を炊くと時間とエネルギーを節約できます。

## 子育て家庭の毎日の食生活を応援する書籍を発売

東京ガスは、定番の家庭料理を、失敗なく、自慢の一品にする方法をご紹介した書籍「おうちコンロで、かんたんプロごはん」を出版しました。料理レシピだけではなく、調理科学の見地から料理人の技術を分析して得た「コツ」と「裏ワザ」も紹介しています。

**タイトル** 「おうちコンロで、かんたんプロごはん」 調理科学の専門家があかすコンロ調理の裏ワザ  
**著者** 東京ガス(株)「食」情報センター 小西雅子  
**発行** (株)小学館 2011年10月1日発行  
**販売価格** 1,155円(税込) 書店にて購入できます。



# 会社情報 (2011年9月30日現在)

## 会社概要

商号	東京瓦斯株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885(明治18)年10月1日
従業員数	7,769人(連結16,545人) 注:従業員数は常勤の就業数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。
格付け	AA+(R&I:格付投資情報センター) Aa3(ムーディーズ) AA-(スタンダード&プアーズ) AAA(JCR:日本格付研究所)
連結子会社	65社
持分法適用関連会社	5社

## 取締役および監査役

取締役会長 鳥原 光憲	取締役 (常務執行役員) 大谷 勉	社外取締役 本田 勝彦 佐藤 行雄 富澤 龍一	常勤監査役 森 邦弘 福本 学
代表取締役社長 (社長執行役員) 岡本 毅	広瀬 道明 板沢 幹雄 吉野 和雄		社外監査役 森 昭治 増田 幸央 大澤 正之
代表取締役 (副社長執行役員) 村木 茂 蟹沢 俊行			

## 執行役員

副社長執行役員 林 洋和	常務執行役員 星野 則和 渡辺 尚生 幡場 松彦 青沼 光一 救仁郷 豊 三神 正博	執行役員 久保田 宏明 高橋 秀文 尾花 秀章 小林 裕明 田邊 義博	村関 不三夫 内田 高史 荒井 英昭 安岡 省 高松 勝
-----------------	--	--	--

## 株式の状況

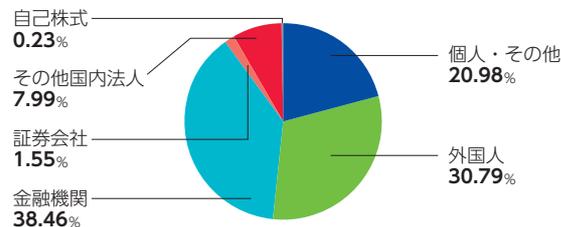
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,590,715,295株
株主数	148,491名

## 大株主

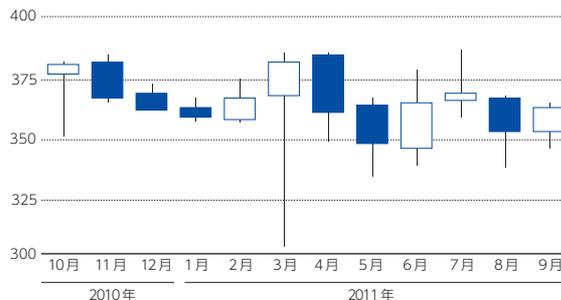
株主名	持株比率(%)	持株数(千株)
日本生命保険相互会社	6.31	163,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5.36	138,493
第一生命保険株式会社	4.66	120,472
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.87	100,091
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2.03	52,547
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.76	45,540
富国生命保険相互会社	1.59	41,103
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託第一生命保険口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1.37	35,490
三菱商事株式会社	1.08	27,959
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	1.08	27,949

注:持株比率は自己株式(5,956,057株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日

証券コード 9531

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

中央三井信託銀行株式会社  
東京都港区芝三丁目33番1号

郵便物送付先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管してください。ただし、株式数比例配分方式で配当をお受け取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問い合わせは、お取引の証券会社にお願い致します。

## 株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の中央三井信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。[TEL 0120-78-2031 (受付時間：平日9:00-17:00)]

## 東京ガス株式会社

東京ガス通信に関するお問い合わせ

**TEL 03-5400-3888**

財務部IRグループ

株式その他のお問い合わせ

**TEL 03-5400-3894**

総務部総務グループ

### 今号の表紙について



9月に就航したLNG船  
『エネルギーホライズン』号

「ホライズン」とは「水平線、展望」のこと。天然ガスの可能性が重ね合わされています。LNG船としては、世界で初めて高効率蒸気タービンを採用することにより、従来のLNG船と比較して15%も燃費効率を向上させています。



この冊子は、社内の使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない植物油インキを使用して印刷しています。